

景気ウォッチャー調査・近畿地域結果(令和6年2月)

～訪日客の増加や能登半島地震の影響緩和で、現状判断は改善～

- 景気ウォッチャー調査・2月調査の近畿地域の結果は、現状判断が53.5と前月比で2か月ぶりの上昇(+3.4ポイント)となった。好不調の判断の目安となる50.0は18か月連続で上回っている。一方、先行き判断は53.8と4か月連続の上昇(+0.7ポイント)となった。
- 足元の景気については、年末年始の消費の盛り上がりによる反動減が続いているほか、暖冬による冬物商材の不調も続いている。その一方で、能登半島地震による影響が徐々に緩和傾向にあるのに加え、株価が史上最高値を記録し、心理面を含めた株高効果に対する声が幅広い業種で聞かれる。さらに、インバウンド市場は引き続き好調な推移となり、関連業界で活発な動きが続いている。円安環境の継続もプラス材料となっていることで、百貨店やホテル、コンビニを中心に、旺盛な需要がみられる。こうした幾つかの要素が、需要全体の押し上げにつながっている。
- 一方、物価やコストの上昇による悪影響は継続している。一部では消費者が値上げに慣れてきたという声もあるものの、実質賃金の前年割れなどを背景に、節約志向が月ごとに強まっている。
- 先行きについては、今春の賃上げに対する期待の声が多く、百貨店のほかスーパーや飲食店からも、客足の増加に期待する声が上がっている。加えて、今後もインバウンドの増加が見込まれる中、百貨店やホテル、コンビニを中心に、売上の増加を期待する声が多い。
- その一方、物価やコストの上昇に対する警戒感は引き続き強い。消費者の節約志向が強まる中、価格転嫁が徐々に困難となっており、スーパーを中心とした小売関連やレストランのほか、製造業などの企業関連でも厳しい声が聞かれる。
- さらに、社会全体で人手不足の深刻化が進む中、運輸・建設業界の2024年問題の影響に対する不安の声も上がりつつある。

「株高」関連のコメント(現状判断)

| | | | |
|--|--|--|--|
| 家計動向関連 | な や や 良 く な っ て い る | 乗用車販売店(支店長) | ・株価が過去最高値を超え、富裕層の含み益が増えている。今後は徐々に購買意欲が高まり、景気が上向くと予想される。 |
| | 変 わ ら な い | その他専門店[宝石](経営者) | ・株価は上がっているが、客の様子からは、景気が良くなっている印象は受けない。 |
| | | その他専門店[宝飾品](販売担当) | ・株価が上がっても円安は高止まりの状態が続いており、購買意欲の高まるきっかけは見当たらない。 |
| | | 旅行代理店(支店長) | ・株価の上昇などで、資産を持っている人は財布のひもが緩みそうであるが、中間層以下は賃金も上がらず、厳しい環境が続いている。また、その実感があるため、なかなか旅行にお金を使う気にはならない。 |
| な や や 悪 く な っ て い る | 一般小売店[時計](経営者) | ・今月は2度の3連休があった割に、来客数はそれほど落ち込まなかったが、来店の目的がほぼ電池交換であったため、客単価は低かった。他店との比較のため、事前に価格を開かれることが多く、全体的に客の余裕がない。株価が上がって恩恵があったという話は、誰からも1度もない。 | |

| | | | |
|-------|-------|------------------|---|
| 企業関連 | 変わらない | 窯業・土石製品製造業（管理担当） | ・円安傾向の継続やインバウンド需要の回復により、一部の業種では回復傾向が鮮明となっている。その一方、物価の上昇による節約志向に変化はなく、企業業績の好調や株高による恩恵は広がっていないと感じる。 |
| | 雇関連 | やや良くなる | 人材派遣会社（役員） 職業安定所（職員） |
| 変わらない | | 新聞社 [求人広告]（営業担当） | ・株価が史上最高値を更新するなど、景気は良くなっているように感じるが、バブル期のように日々の生活レベルで好調を感じることはなく、現実感のないものになっている。 |

「能登半島地震」関連のコメント(現状判断)

| | | | |
|--------|-------|---------------|---|
| 家計動向関連 | なっている | 百貨店（売場マネージャー） | ・能登半島地震による消費意欲への影響が徐々に改善傾向にあるほか、春節による訪日外国人の増加が顕著となっている。バレンタイン商戦でのモチベーション需要も好調に推移しており、国内景気が上向き一助になっている。 |
| | | 一般レストラン（経営者） | ・能登半島地震から1か月が過ぎ、客が外出を控える動きも収まったため、昼の売上は1月よりも伸びている。 |
| | 変わらない | 百貨店（マネージャー） | ・能登半島地震による消費マインドの委縮は少し回復したが、暖冬の影響で、高額な冬物商材はセールが始まって動きは鈍い。また、不安定な天候の影響で、春物商材の動きも良いとは言い難い。インバウンドは春節の到来で中国人観光客が一時は増えたが、買物の動向は、自分のために必要な商品だけを購入する形に変化している。いわゆる爆買いは完全になくなるなど、中国経済の軟調さが実感される。 |
| | | 観光型旅館（経営者） | ・能登半島地震以来、富裕層による宿泊の動きが極端に鈍っており、現在も続いている。 |

「賃上げ」関連のコメント(先行き判断)

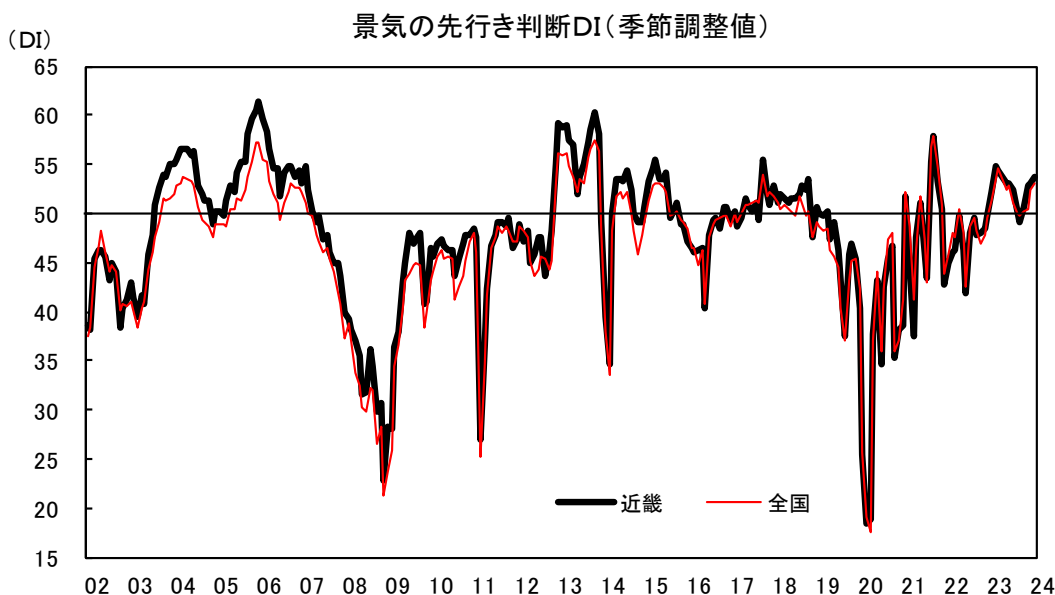
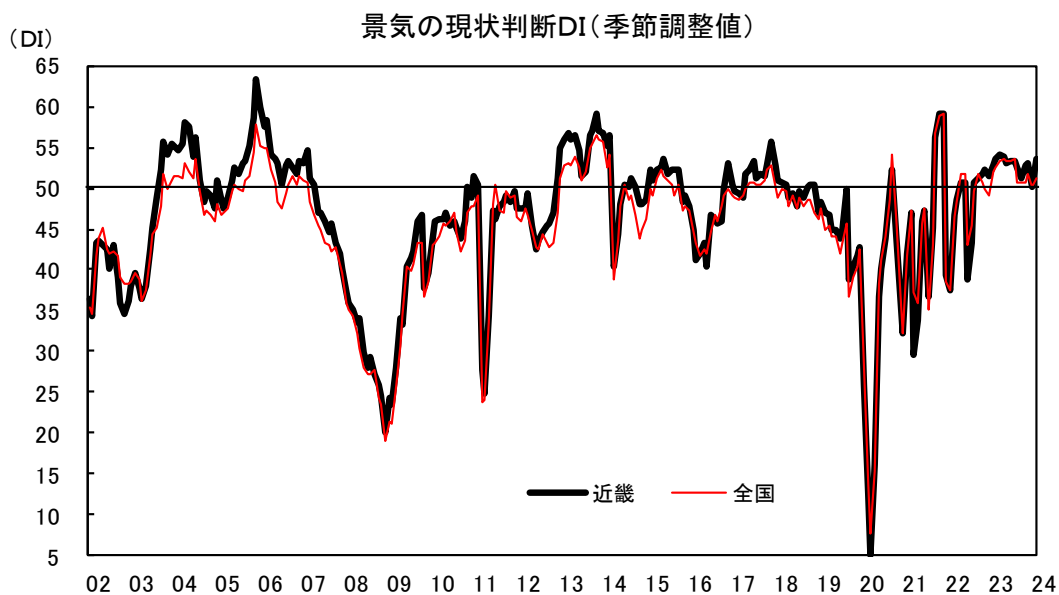
| | | | |
|--------|--------------------|---|--|
| 家計動向関連 | 良くなる | 一般小売店 [野菜]（店長） | ・国全体で賃上げを進める姿勢が強まっているため、周囲もそれに乗っていく雰囲気変わりつつある。この動きが続けば、景気は回復に向かう。 |
| | | スーパー（企画） | ・賃上げが幅広く実施されることで、ある程度の値上げが許容される環境となる。 |
| | | 旅行代理店（役員） | ・賃金のベースアップや福利厚生の見直しが進むことで、海外旅行の動きも更に加速すると予想される。 |
| | やや良くなる | 百貨店（宣伝担当） | ・大阪・関西万博の開催を1年後に控え、ますます来街者が増えることが期待されるほか、賃上げが国内の消費意欲の回復につながることを期待している。それに備えて商品の準備や人手を増やしており、売上の増加が見込まれる。 |
| | | スーパー（企画） | ・株価の上昇や賃上げへの期待により、やや良くなる。 |
| | | その他専門店 [ドラッグストア]（店員） | ・4月は賃上げがあるほか、季節の変わり目を迎える。新たなテナントの進出により、老若男女の新規客の増加が期待される。 |
| | | その他レジャー施設 [複合商業施設]（職員） | ・株価の上昇による消費マインドの改善や、春の賃上げ効果に期待している。 |
| | その他住宅 [住宅設備]（営業担当） | ・年度末の繁忙期を迎えて仕事量は増えるため、暇になることはないが、大きく好転する材料も特に見当たらない。春の賃上げがどの程度の金額となるのか、楽しみよりも不安がある。 | |
| | 変わらない | 百貨店（売場主任） | ・株価の上昇や賃金の増加といった景気が良くなる要素はあるが、恩恵を受けるのは一部であり、すぐに大きな消費につながることは考えにくい。都心部にはまだ明るさがある一方、地方店は人口の減少や顧客の高齢化、有力ブランド店の撤退といった問題もあり、厳しい状況が続くであろう。 |
| | | 百貨店（マネージャー） | ・海外情勢の変化や、株価の上昇、賃上げによる影響は少しあるが、小売全体では、国内現金客の選択消費に加え、インバウンドや富裕層による付加価値消費が続く構図は、大きく変わらない。 |
| | | スーパー（経理担当） | ・賃金のベースアップのニュースが相次ぎ、株価も史上最高値を更新するなど、消費マインドに好影響を与える情報が増えている。実感として、物価の上昇を上回る収入の増加や、生活水準の改善が進んでくれば、本格的な景気の回復が進み、消費も伸びていく。 |
| | | スーパー（社員） | ・春に向けて賃上げの報道が増えているほか、株高の影響がスーパーにも出てくることを期待しているが、依然として商品価格の上昇は続いているため、客の消費はしばらく抑制気味となる。 |
| | | 衣料品専門店（店長） | ・物価の上昇による影響か、客との会話でも活気がない。世の中全体では賃上げや株高のニュースが多いが、財布のひもが固くなりつつあることは明らかである。 |
| | | その他専門店 [ガソリンスタンド]（経理担当） | ・今春の賃上げと価格転嫁の状況により、景況感は左右される。ガソリン価格は補助金が夏まで延長される見通しであり、今のところは大きな変動要因が見当たらない。 |
| | | | |

| | | | |
|--------|-----------------|------------------|--|
| 家計動向関連 | 変わらない | 一般レストラン（経営者） | ・株価が史上最高値となるなど、景気が良くなるような話はあるが、日常生活への好影響はまだ先である。物価の上昇や、なかなか浸透しない賃上げに対し、節約の動きや消費を控える動きなど、生活の守りに入る傾向がある。飲食店を気軽に利用してもらうまでには、まだ時間が掛かる。 |
| | | 一般レストラン（企画） | ・春闘では、大手企業は満額回答のケースが多い一方、中小企業がどこまで賃上げできるかは不透明である。物価の上昇はやや落ち着きをみせているが、消費支出が回復するとは考えられない。 |
| | | 遊園地（経営者） | ・一定の賃上げを行う企業が増えると予想されるため、今後もレジャー消費は底堅い推移が続く。 |
| 企業動向関連 | 変わらない | 窯業・土石製品製造業（管理担当） | ・企業業績は堅調で、株価も順調に推移しているが、好景気の実感は乏しい。物価の上昇を上回る賃上げの動きが、中小企業を含め、どこまで浸透するかを見守りたい。 |
| | | 一般機械器具製造業（設計担当） | ・個人消費の改善は見込めない状態が続いている。春の賃上げしか期待材料がない状況では厳しい。 |
| | | 建設業（経営者） | ・4月の賃上げに期待しているが、様々な物価が上がっていくなかで、一気に消費意欲が上向くとは考えられない。 |
| | | 金属製品製造業（営業担当） | ・市況が低迷するなか、鋼材の値上げや賃上げが予定されているため、採算が更に悪化する見通しである。 |
| 雇用関連 | やや良くなる 変わらない | 人材派遣会社（役員） | ・4月の賃金のベースアップは、前年以上の動きになると予想され、前年は実施を見送った企業でも、今年は賃上げが増える可能性は高い。ただし、米国大統領選挙や世界の経済情勢、各地での紛争の状況次第で、一気に国内経済が冷え込む可能性もあり、楽観はできない。 |
| | | 学校〔大学〕（就職担当） | ・消費の動きは賃上げの結果次第となる。周囲には年金生活者が多く、多少は株価の上昇で潤っているが、やはり物価上昇の沈静化が望まれる。 |

「人手不足、2024年問題」関連のコメント（先行き判断）

| | | | |
|----------|--|--|---|
| 家計動向関連 | やや良くなる | 百貨店（宣伝担当） | ・大阪・関西万博の開催を1年後に控え、ますます来街者が増えると予想されるほか、賃上げが国内の消費意欲の回復につながることを期待している。それに備えて商品の準備や人手を増やしており、売上増加が見込まれる。 |
| | | 家電量販店（経営者） | ・住宅省エネ2024年キャンペーンが正式に始まり、給湯器や水回りのリフォーム案件の増加が期待される。 |
| | | 家電量販店（企画担当） | ・冷蔵庫や洗濯機、電子レンジなどの新生活商品の販売が増える時期となる。また、住宅省エネ2024年キャンペーンによる後押しもあり、換気機能のある高性能エアコンの販売も期待できる。 |
| | 変わらない | 百貨店（マネージャー） | ・新型コロナウイルスの5類感染症への移行後、初めての春の観光シーズンとなる。客が増える期待はあるものの、一過性の面は否めず、地元客の消費が上向く要素は全く見当たらない。2024年問題に伴うコストの増加予想から、取引先も投資に慎重な姿勢であるなど、景気が良くなる見通しが立たない。 |
| スーパー（企画） | | ・今秋の最低賃金の引上げを受け、一部の企業では今春から最低賃金を上げる方向であるが、景気を回復させるほどの影響はない。一方、運輸業界の2024年問題による物流費の高騰で、企業の負担が増え、更に価格転嫁が進むと予想される。 | |
| 企業関連 | や な る 良 く 変 わ ら ない | 輸送業（営業担当） | ・業界では小規模の倉庫等から、中規模の施設へのシフトが進み始めた。うまく稼働させることで、人手不足の打開が進む。 |
| | 変わらない | 建設業（営業担当） | ・取引先の設備投資計画は継続しており、物価の上昇にも理解を得られるケースが増えている。一方、4月からの2024年問題により、現場の人手や労務コストにどのように影響が出るのかは分からない。 |
| 雇用関連 | 変わらない | 職業安定所（職員） | ・人手不足を訴える事業所が多い反面、事業主都合離職者が増加している。 |
| | | その他雇用の動向を把握できる者 | ・業種を問わず人手不足の声が多い一方、製造業を中心に、価格転嫁の動きは限界にきている。また、為替動向や中国経済の減速など、海外情勢の悪化による影響を懸念する声も多い。これらの状況は大きく変化するとは考えにくく、求人減少傾向もしばらく続くことが予想される。今後は、大阪・関西万博の準備が本格化していくなかで、求人の増加に期待したい。 |

(DIの推移)



(近畿地域のDI)

| | | 22年 | | | | | | | | | | | | 23年 | | | | | | | | | | | | 24年 | |
|-----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
| | | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | |
| 現 状 判 断 | 近畿 | 37.6 | 46.8 | 48.5 | 50.7 | 50.7 | 38.8 | 43.3 | 50.8 | 51.3 | 51.6 | 52.3 | 51.5 | 52.9 | 53.7 | 54.2 | 53.8 | 53.1 | 53.4 | 53.2 | 52.6 | 51.1 | 52.8 | 53.0 | 50.1 | 53.5 | |
| | (全国) | 37.5 | 46.4 | 48.3 | 51.8 | 51.8 | 43.0 | 45.5 | 49.5 | 51.8 | 50.6 | 49.8 | 49.2 | 52.1 | 52.6 | 53.3 | 53.5 | 53.2 | 53.4 | 53.5 | 50.7 | 50.7 | 50.8 | 51.8 | 50.2 | 51.3 | |
| 先 行 き 判 断 | 近畿 | 45.0 | 46.0 | 46.3 | 49.9 | 46.3 | 41.8 | 48.0 | 49.6 | 47.9 | 48.1 | 48.4 | 49.7 | 52.3 | 54.8 | 54.5 | 53.7 | 53.0 | 53.0 | 52.4 | 50.2 | 49.1 | 50.6 | 52.8 | 53.1 | 53.8 | |
| | (全国) | 45.9 | 48.1 | 47.5 | 50.4 | 48.1 | 42.6 | 48.8 | 49.6 | 48.2 | 47.0 | 47.8 | 49.5 | 51.4 | 53.6 | 54.6 | 53.5 | 52.4 | 52.8 | 51.1 | 50.1 | 49.8 | 50.3 | 50.4 | 52.5 | 53.0 | |

※季節調整値